

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月16日 (2013.5.16)

【公表番号】特表2012-502071(P2012-502071A)

【公表日】平成24年1月26日 (2012.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-004

【出願番号】特願2011-526411(P2011-526411)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4178 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/30 (2006.01)

A 6 1 P 25/32 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/4178

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 1/18

A 6 1 P 25/30

A 6 1 P 25/32

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 17/00

C 0 7 K 7/06 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月29日 (2013.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

Asp¹-Arg²-Val³-Ser⁴-Ile⁵-His⁶-Cys⁷ (配列番号 4) のアミノ酸配列を含むペプチド。

【請求項 2】

請求項 1 記載のペプチドおよび薬学的に許容される賦形剤を含む医薬組成物。

【請求項 3】

経口、筋肉内、静脈内、皮下、局所、経皮、直腸、膣内、肺内、鼻腔内、口腔内、または舌下投与用に製剤化された、請求項2記載の医薬組成物。

【請求項 4】

経口投与用に製剤化された、請求項2記載の医薬組成物。

【請求項 5】

静脈内投与用に製剤化された、請求項2記載の医薬組成物。

【請求項 6】

錠剤、丸剤、カプセル剤、顆粒剤、シロップ剤、スプレー剤、エアゾール剤、リポソーム組成物、軟膏、坐剤、インプラント、プラスター、または遅延放出製剤として製剤化された、請求項2記載の医薬組成物。

【請求項 7】

ポリマー担体、崩壊剤、潤滑剤、溶剤、または膨潤剤から選択される 1 つ以上の薬理的に不活性で薬学的に許容される賦形剤をさらに含む、請求項2記載の医薬組成物。